

平成 28 年度事業報告

本報告は、定款第 39 条に基づき監事の監査を受け平成 29 年度第 1 回理事会にて承認を得ております。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日）事業報告

<概要>

平成 23 年 9 月 1 日の公益社団法人化からの第 6 期目として、4 月 1 日より平成 28 年度の各事業をスタートさせた。5 月 13 日に社員総会を開催し、平成 27 年度決算書の件、理事・監事の選任の件を決議するとともに、平成 28 年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件等の報告を承認した。また、この社員総会では、平成 27 年 7 月の内閣府立入検査での指摘に従い、基本財産、及びその取扱いを規定した定款の一部を改訂する件についても決議した。平成 27 年度事業報告書は 6 月 20 日内閣府に送付した。3 月 21 日に内閣府より、決算書の内、正味財産増減計算書での特定費用準備資金取崩額の取り扱いにつき指摘を受け、平成 29 年度社員総会決議により、過年度修正を行うこととなった。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1 事業）として、以下を行った。近畿支部の担当による第 70 回年次大会（開催市：神戸市、西宮市、会場：神戸ポートピアホテル、武庫川女子大学、会頭：中野長久大阪府立大学名誉教授）を開催し、参加登録者 1951 名、市民公開講座等を含めて 2300 名を超える参加者を得て、基調講演、教育講演、シンポジウム、市民公開講座、一般講演等を通じて、栄養科学・食糧科学の最新情報を確認しあう場となった。特に、大隅良典東京工業大学名誉教授、森和俊京都大学教授の特別講演、今大会から始めた医学系学会との合同シンポジウム等では満席の聴衆に深い感銘を与えた。また、第 71 回年次大会については九州・沖縄支部担当（会頭：山田耕路崇城大学教授）で開催（開催市：沖縄県宜野湾市、会場：沖縄コンベンションセンター）することになり、その準備として、プログラム、会場、運営等の活動を精力的に進めた。支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公 2 事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第 69 巻 2 号～6 号、第 70 巻 1 号）し、欧文誌 JNSV 刊行においても定期的に出版（Vol. 62-No. 2～No. 6、Vol. 63-No. 1）した。また欧文誌については、運営方法を見直し、Vol. 64 よりペーパーレス化する方向で検討を進めた。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反（COI）については、利益相反委員会が前年度策定した利益相反指針並びにその細則の改訂素案について検討を加え、実施の準備をした。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集の Web 公開を継続実施している。

加えて昨年度に新設した技術賞の選考を行い、2 件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。

若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に開始し、若手研究助成を実施するとともに、優秀学生発表賞を新設し、実施し、更にこれら若手活性化事業を次年度も継続すべく、エントリーを受け付け、審査の準備を行った。

I 会員の動き

1) 会員の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	33 名
終身会員	140 名
正会員	3039 名
学生会員	783 名
団体会員	64 件
賛助会員	66 件（79 口）
学会誌定期購読団体	118 件

2) 平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）物故会員（敬称略）

名誉会員：朱 軫淳、細谷 憲政、安本 教傳

終身会員：浅尾 俊夫、一之瀬 幸男、川岸 舜朗、齊藤 昇、曾根 清秀、千葉 英雄、濱 堯夫、松浦 慎治、三崎 旭、森 友彦

正会員：渡邊 容子、山主 智子、和田野 晃

3) 支部別会員数 平成29年3月31日付

支部名	会員種別 名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	7 (+ 3)	100 (- 2)	32 (+ 6)	3 (± 0)	1[1] (± 0)
東北支部	1 (± 0)	7 (± 0)	166 (- 8)	34 (- 6)	1 (± 0)	0[0] (± 0)
関東支部	18 (- 1)	56 (+ 2)	1212 (+20)	226 (+51)	33 (-1)	55[68] (- 1)
中部支部	2 (± 0)	15 (± 0)	359 (+ 6)	79 (+32)	5 (-1)	2[2] (- 1)
近畿支部	4 (- 1)	36 (- 3)	641 (- 4)	272 (+101)	9 (± 0)	6[6] (± 0)
中国・四国支部	2 (± 0)	11 (+ 1)	286 (- 6)	93 (+21)	10 (± 0)	2[2] (± 0)
九州沖縄支部	6 (+ 1)	8 (- 1)	271 (- 7)	44 (± 0)	3 (± 0)	0[0] (± 0)
海外	0 (- 1)	0 (± 0)	4 (- 1)	3 (+ 1)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計	33 (- 2)	140 (+ 2)	3039 (- 2)	783 (+206)	64 (-2)	66[79] (- 2)

() 内は平成28年3月31日会員に対する増減を示す。

II 各種事業活動の推進報告

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業(公1)>

1) 大会事業

(1) 第70回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 中野 長久 大阪府立大学名誉教授)

平成28年5月13日(金)~5月15日(日) 神戸ポートピアホテル、武庫川女子大学

*特別講演

「食品抗酸化物質と長寿科学」

宮澤 陽夫

(東北大学未来科学技術共同研究センター)

「Making Nutrition a Priority: WFP's Fight against Hunger Worldwide」

スティーブン・アンダーソン

(WFP 国連世界食糧計画日本事務所)

「脳によるアミノ酸恒常性の仕組み —食行動における脳腸連関の重要性—」

鳥居 邦夫(株式会社鳥居食情報調節研究所)

「腸内常在菌が健康寿命を決める！」

辨野 義巳

(特定国立研究開発法人理化学研究所)

「小胞体の機能と制御のダイナミクス」

森 和俊(京都大学大学院)

「27年のオートファジー研究を振り返って」

大隅 良典

(東京工業大学 フロンティア研究機構)

*教育講演

「ヒト栄養学におけるデータの読み方」

佐々木 敏(東京大学大学院)

「新規概念【災害栄養】の提案—東日本大震災における栄養の課題」

雨海 照祥(武庫川女子大学)

「食品安全の基本的な考え方と最近の話題」

村田 容常(お茶の水女子大学)

「利益相反と健全な研究のあり方」

吉田 博(東京慈恵会医科大学)

*国際シンポジウム「Progress of International Cooperation for Nutritional Sciences」

「Nutritional Situation in Argentina」

Cesar Casavola

(Head of Nutrition and Nutritional Support in Hospital Aleman, Buenos Aires, Argentina)

「Anemia and Micronutrients Deficiencies in Indonesia, and Strategies to Overcome」

Hardinsyah

(Community Nutrition Department, Faculty of Human Ecology, Bogor Agricultural University)

「The Rapid Transition of Molecular Nutrition Research Based on Innovative Concepts and Technologies」

Hisanori Kato

(Project Professor, The University of Tokyo)

*医学系学会との合同シンポジウム「糖尿病における食事療法の意義と課題」

「糖尿病食事療法での炭水化物の意義」

石田 均(杏林大学)

「脂質栄養と脂質異常症」

吉田 博(東京慈恵会医科大学)

「食塩と高血圧」

下澤 達雄(東京大学)

「たんぱく質と糖尿病腎症」

古家 大祐(金沢医科大学)

*シンポジウム 15 テーマ

*市民公開講座 1 テーマ

一般講演 636 題

参加者数 2320名(内 非会員 530名)

(2) 支部事業

①北海道支部

*第46回日本栄養・食糧学会北海道支部会

平成28年10月29日(土)～30日(日) とかちプラザ 2F 視聴覚室

公開シンポジウム「生活習慣病の最近の話題」

「2型糖尿病の臨床像・治療のParadigm Shift」

「非アルコール性脂肪性肝疾患の最近の話題」

「動脈硬化と心臓病」

「ロコモティブシンドロームと生活習慣病」

参加者数 44名(内 非会員 23名)

一般講演 12題

横山 宏樹(自由が丘横山内科クリニック)

中村 公英(帯広畜産大学)

尾畑 弘美(国立病院機構帯広病院)

計良 基治(北斗病院・新得クリニック)

②東北支部

*第50回日本栄養・食糧学会東北支部大会

平成28年11月6日(日) 岩手大学農学部(総合教育研究棟・生命系)

公開シンポジウム「腸管機能と健康」

「腸管吸収と健康」

「脂肪肝誘導因子としての胆汁酸」

「日本型食生活と腸の健康」

参加者数 80名(内 非会員 38名)

一般講演 12題

清水 誠(東京農業大学)

石塚 敏(北海道大学大学院)

三田村理恵子(藤女子大学)

③関東支部

*第98回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成28年10月22日(土) 東京農業大学 世田谷キャンパス

シンポジウム「ロコモとメタボを標的とした腸管研究の最前線」

「ロコモとメタボを標的とした腸管研究の重要性」

「腸管カルシウム吸収と骨石灰化とを連携する新たなシグナル」

「食品成分による食後高脂血症の改善」

「腸管における炎症反応と免疫応答制御」

「オルガノイド培養法を用いた腸管上皮細胞の機能解析」

参加者数 227名(内 非会員 183名)

*第19回脂質栄養シンポジウム

平成29年2月4日(土) 星陵会館

シンポジウム「健康寿命の延伸」

「体力向上により健康寿命の延伸を」

「運動機能改善を目指す健康機能研究」

「神経筋接合部と健康寿命」

「高齢化する女性の健康を考える」

参加者数 144名(内 非会員 101名)

*第99回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成29年3月4日(土) 明治大学 駿河台キャンパス

シンポジウム「栄養とメンタルヘルス～栄養と心の健康のかかわり～」

「記憶制御に対するビタミン群の役割」

「発達期たんぱく質栄養不全による脳高次機能障害の分子基盤」

「周産期における ω 3系脂肪酸の重要性」

「生活に役立つ魚油とメンタルヘルスの話題」

「脳や末梢臓器の時計遺伝子をターゲットにした時間栄養学的研究」

参加者数 95名(内 非会員 51名)

清水 誠(東京農業大学)

増山 律子(長崎大学大学院)

高橋 信之(東京農業大学)

戸塚 護(東京大学大学院)

岩槻 健(東京農業大学)

澤田 亨(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所)

太田 宣康(花王株式会社)

山梨 裕司(東京大学医科学研究所)

上原万里子(東京農業大学)

喜田 聡(東京農業大学)

古屋 茂樹(九州大学大学院)

原馬 明子(麻布大学)

松岡 豊(国立研究開発法人国立がん研究センター)

柴田 重信(早稲田大学)

④中部支部

*第70回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成28年6月25日(土) 岐阜大学応用生物科学部(101多目的ホール)

公開シンポジウム「食品機能学研究の最先端 -食品成分による疾病予防-

「肥満・エネルギー代謝と食品成分」

「緑茶カテキンセンシング機構に基づいたがん予防戦略」

「魚油に含まれるオメガ3脂肪酸の代謝と抗炎症作用」

「カロリー制限による抗老化作用:その分子機構と模倣物探索」

参加者数 83名(内 非会員 43名)

*第71回日本栄養・食糧学会中部支部大会

河田 照雄(京都大学大学院)

立花 宏文(九州大学大学院)

有田 誠(国立研究開発法人理化学研究所)

千葉 卓哉(早稲田大学)

平成 28 年 11 月 19 日 (土) 岐阜大学応用生物科学部 (101 多目的ホール)

特別講演

「味覚シグナルと消化管機能は連動してエネルギー代謝を調節する」 阿部 啓子 (東京大学大学院)

参加者数 136 名 (内 非会員 91 名)

一般演題 18 題

⑤近畿支部

* 第 7 回栄養学を志す若手のためのフォーラム

平成 28 年 7 月 23 日 (土) 大阪市立大学梅田サテライトキャンパス

平成 28 年 9 月 17 日 (土) ~ 18 (日) クロスウェーブ梅田

近畿支部実践栄養学研究セミナー (ステップ 1)

参加者数 20 名 (内 非会員 13 名)

* 第 55 回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

平成 28 年 10 月 22 日 (土) 帝塚山学院大学 人間科学部 (泉ヶ丘キャンパス)

特別講演

「整形外科疾患と栄養との関わり」

堀部 秀二 (大阪府立大学大学院)

「生活習慣病に対する新しい視点~糖尿病と DOHaD~」

津田 謹輔 (帝塚山学院大学)

参加者数 240 名 (内 非会員 13 名)

一般演題 64 題

⑥中国・四国支部

* 第 49 回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会

平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~ 11 月 13 日 (日) 徳島大学 蔵本キャンパス

特別講演

「栄養素の新規機能性を探索する」

阪上 浩 (徳島大学大学院)

市民公開講座

「黒酢の健康増進効果」

叶内 宏明 (鹿児島大学)

「人はなぜ栄養を考えて食べるのか」

中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学)

参加者数 77 名 (内 非会員 23 名)

一般講演 24 題

⑦九州・沖縄支部

* 平成 28 年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

平成 28 年 10 月 22 日 (土) ホルトホール大分

平成 28 年 10 月 23 日 (日) 大分大学教育学部棟

特別講演

「健康寿命日本一への挑戦」

藤内 修二 (大分県福祉保健部)

「食物アレルギーの最新の考え方と対応」

海老澤元宏 (国立病院機構相模原病院)

「時計遺伝子と食事のリズム-時間栄養学とメタボ予防-」

小田 裕昭 (名古屋大学大学院)

参加者数 63 名 (内 非会員 7 名)

一般講演 19 題

2) 大会事業準備

(1) 第 71 回日本栄養・食糧学会大会の開催 (会頭 山田 耕路 崇城大学教授)

平成 29 年 5 月 19 日 (金) ~ 5 月 21 日 (日) 沖縄県宜野湾市

* 特別講演 8 題

* 教育講演 4 題

* シンポジウム 23 テーマ

* 市民公開講座 1 テーマ

一般講演 723 題

(2) 第 72 回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成 30 年 5 月 11 日 (金) ~ 5 月 13 日 (日) 岡山県岡山市・総社市

中国・四国支部 (大会準備責任者 辻 英明 岡山県立大学学長) が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第 73 回日本栄養・食糧学会大会開催準備

平成 31 年度の本大会の開催担当支部及び開催地が中部支部で静岡県静岡市において実施予定となった。(第 5 回理事会 1/28 決議)

大会準備責任者として、合田 敏尚 静岡県立大学教授が選任された (第 5 回理事会 1/28 決議)。

3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第 1 回各種授賞等選考委員会 (5/13) が開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/17)が開催され、功労賞3件、学会賞3件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者2件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

- ① 学術企画の支援として学会活動強化費申請(5件)のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。
- ② 学会活動強化委員会を開催し(5/15)、平成29年度、平成30年度「栄養・食糧学基金」研究助成重点分野について論議し、6月にメール審議にて決定した。
- ③ 栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成・国際助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。
- ④ 学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 平成28年度表彰授与式開催

① 平成28年度受賞者

学会賞	2件	芦田 均	二川 健
奨励賞	2件	久保田 真敏	清水 誠
技術賞	2件	ライオン株式会社(森下 聡、小野 知二、中村佳菜恵、村越 倫明) 長崎県農林技術開発センター(宮田 裕次、中山 久之)、長崎大学大学院(田中 隆) 九州大学大学院(松井 利郎)、長崎大学(永田 保夫)、田丸 静香(福岡工業大学)、 長崎県立大学大学院(田中 一成)	

② 平成28年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成	今井 里佳	北浦 靖之
栄養・食糧学基金若手研究助成	小村 智美	酒寄 信幸

(5) 平成29年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌69-4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成前期の募集を学会誌69-6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

(6) 表彰事業の協賛のため5企業・団体へ依頼し応諾された。

(7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

① 研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム(株)/酵素応用シンポジウム研究奨励賞	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞	
イノベーター・オブ・ザ・イヤー事務局/イノベーター・オブ・ザ・イヤー	
(公財)上原記念生命科学財団/上原賞	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞
慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞	第一生命保険株式会社/保健文化賞
(一財)辻静雄食文化財団/辻静雄食文化賞	(公財)内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞
(一財)東京顕微鏡院/遠山椿吉記念、食と環境の科学賞	(一社)日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞
(独)日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞	(一社)日本病院会/山上の光賞
(公社)日本看護協会/ヘルシー・ソサエティ	(一財)バイオインダストリー協会/大賞・奨励賞
福井県小浜市/杉田玄白賞	(公財)三島海雲記念財団/三島海雲学術賞
(公財)森永奉仕会/森永奉仕会賞	(一財)材料科学技術振興財団/山崎貞一賞

② 研究助成募集の周知

(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団	(公財)医療科学研究所
うま味研究会	(公財)浦上食品・食文化振興財団
(公財)エリザベス・アーノルド富士財団	国立科学研究法人科学技術振興機構
(一財)旗影会	(一財)キャノン財団
公益信託家政学研究助成基金	(公財)サッポロ生物科学振興財団
(一財)サンスター財団	(公財)笹川スポーツ財団
(一社)Jミルク	(公財)杉浦記念財団
(公財)ソルト・サイエンス研究財団	(公財)タカノ農芸化学研究助成財団
(公財)ダノン健康栄養財団	(公財)地域創造基金 さなぶり
(公財)東洋食品研究所	(公財)内藤記念科学振興財団
(一社)日本医師会	(公財)日中医学協会
(公財)日本科学協会	(公財)日本食品化学振興財団
(一財)ニッポンハム食の未来財団	ネスレ栄養科学会議
(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団	(公財)不二たん白質研究振興財団
(公財)ホクト生物科学振興財団	(公財)本庄国際奨学財団
(公財)三島海雲記念財団	(公財)森永奉仕会
やずや食と健康研究所	(公財)山崎香辛料振興財団

(8) 外部団体への推薦

- ①公益財団法人 森永奉仕会
平成 28 年度森永奉仕会研究奨励金
各種授賞等選考委員会にて審査の結果、1 件を学会として推薦
- ②公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団
平成 28 年度飯島藤十郎食品科学賞
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1 件を学会として推薦
- ③公益財団法人山田科学振興財団
平成 29 年度研究援助候補者
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、1 件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

- 第 70 回大会時に下記関連学術集会を支援
- ①スポーツ栄養学研究会の開催
 - ②栄養学若手研究者の集い開催
 - ③ヒトエネルギー代謝研究若手の会開催
 - ④第 9 回カルノシン・アンセリン研究会開催
 - ⑤Hindgut Club Japan サテライトシンポジウム開催
 - ⑥コラーゲンペプチド機能研究会開催

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記 2 テーマで、栄養成分表示・栄養教育の検討は非常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は 28 年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

- (1) 栄養成分表示・栄養教育の検討
保健機能食品について、栄養・食糧学会誌に掲載する「保健機能食品の課題と展望」をタイトルとする総説としてまとめた。
- (2) 栄養・食糧学用語に関する検討
栄養・食糧用語辞典（第 2 版）における見出し語ならびに説明文の検証を行い、改訂案を作成した。

5) 国際交流事業

- (1) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係
宮澤陽夫 IUNS 理事を通して IUNS 理事会との連携を密にした。IUNS の次期理事、Living Legend、Fellow について、日本学術会議 IUNS 分科会を通じて候補者を推薦した。
- (2) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)
同会会長の宮澤陽夫 東北大学教授、事務局長の加藤久典 東京大学特任教授による 2 年目の体制において、加盟学会と様々な連携を行った。
- (3) 22nd IUNS-International Congress of Nutrition (ICN2021) 関係
組織委員会（加藤久典委員長）を設置し、準備体制を整えるとともに、第 21 回会議（21st ICN2017 アルゼンチン）で求められる状況報告と広報活動の準備を進めた。第 71 回大会（沖縄）に IUNS の次期会長を招聘し、東京国際フォーラムの視察もしていただくこととした。
- (4) IUNS 栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ関係
2017 年 3 月 7 日（火）から 3 月 9 日（木）まで医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所において開催した（同研究所、IUNS 分科会、日本栄養改善学会と共催）。国外 20 名、国内 20 名、オブザーバー 6 名の参加者を得て活発な議論が行われた。
- (5) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係
IUFoST Japan と連携しその事業を支援した。
- (6) 海外関連学会との連携
既に MOU を結んでいる海外の 5 学会の代表を第 71 回大会に招待した。

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2） >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 69 巻 2 号～6 号、70 巻 1 号

①投稿状況

2017 年 3 月 31 日現在 投稿数（うち採択数）

受付日	全投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報
2015 年 4 月	4(2)	0	2(0)	2(2) 注1	0	0
2015 年 5 月	3(1)	0	3(1)	0	0	0
2015 年 6 月	0	0	0	0	0	0
2015 年 7 月	4(3)	2(2)	2(1) 注2-1	0	0	0
2015 年 8 月	3(3)	2(2)	0	0	1(1)	0
2015 年 9 月	5(3)	1(1)	2(1)	2(1) 注3	0	0
2015 年 10 月	3(2)	1(1)	1(1) 注2-2	0	1(0)	0
2015 年 11 月	4(3)	2(2)	2(1) 注4-1	0	0	0
2015 年 12 月	3(2)	0	2(1)	1(1) 注4-2	0	0
2016 年 1 月	2(0)	0	1(0)	1(0) 注5-1	0	0
2016 年 2 月	3(1)	0	2(0) 注6-1		1(1) 注5-2	0
2016 年 3 月	3(3)	0	1(1)	1(1)	1(1)	0
2016 年 4 月	3(2)	0	2(1) 注7	1(1) 注6-2	0	0
2016 年 5 月	0	0	0	0	0	0
2016 年 6 月	3(1)	1(1)	3(0) 注8-1	0	0	0
2016 年 7 月	4(1)	1(1)	2(0) 注8-2,9-1	1(0)	0	0
2016 年 8 月	2(1)		2(1)	0	0	0
2016 年 9 月	4(4)	1(1)	1(1)	0	2(2) 注9-2,10	0
2016 年 10 月	1(0)	0	0	0	0	1(0)
2016 年 11 月	0	0	0	0	0	0
2016 年 12 月	5(1)	0	3(1) 注11	2(0)	0	0
2017 年 1 月	5(1)	0	3	2(1)	0	0
2017 年 2 月	0	0	0	0	0	0
2017 年 3 月	3	1	1	1	0	0

※採否が確定していない論文がある月：2016 年 12 月・2017 年 1・3 月

注 1) 2 報とも過去に掲載否となったものが、改めて研究ノートとして 4 月に再投稿

注 2-1) 1 報は掲載否 注 2-2) 掲載否となったものが再び報文として 10 月に再投稿され、採択

注 3) 1 報は取り下げ

注 4-1) 1 報は取り下げ 注 4-2) 取り下げられた 1 報が 12 月に研究ノートとして再投稿され、採択

注 5-1) 取り下げ 注 5-2) 2 月に資料として再投稿され、採択

注 6-1) 2 報とも取り下げ 注 6-2) その後 1 報が 4 月に研究ノートとして再投稿され、採択

注 7) 2 報とも過去に不採択となった報文の再投稿で、1 報は採択され 1 報は不採択

注 8-1) 2 報は不採択、1 報は取り下げ 注 8-2) 不採択のうち 1 報が 7 月に報文として再投稿されるも不採択

注 9-1) 1 報は取り下げ 注 9-2) 取り下げられた 1 報が 9 月に資料として再投稿され、採択

注 10) 過去に不採択となった報文が資料として再投稿され、採択

注 11) 1 報は不採択、1 報は審査中

*2015 年度 投稿論文 37 編

採択率 72% (取り下げ除く)

掲載可 23 編 (平均所要日数 108 日) 掲載否 9 編 (平均所要日数 42 日)

取り下げ 5 編 審査中 0 編

*2016 年度 投稿論文 31 編

採択率 52% (取り下げ及び審査中除く)

掲載可 12 編 (平均所要日数 63 日) 掲載否 11 編 (平均所要日数 37 日)

取り下げ 2 編 審査中 6 編

②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	書評	計
69-2	0	0	2	1	0	1	4
69-3	2	0	0	1	0	1	4
69-4	2	1	1	0	0	2	6
69-5	0	2	1	1	0	0	4
69-6	2	1	0	0	0	0	3
70-1	1	1	1	1	0	1	4
総計	7	4	5	4	0	5	25

③刊行状況

巻号	納本日	予定日
69-2	4月11日	4月11日
69-3	6月10日	6月10日
69-4	8月12日	8月10日
69-5	10月11日	10月11日
69-6	12月9日	12月9日
70-1	2月10日	2月10日

④編集委員会は5月14日ならびに3月14日（メール会議）に開催した。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会との共同編集 Vol. 62-No. 2~No. 6、Vol. 63-No. 1の刊行

平成29年3月13日現在

理事会 資料提出日	Vol	年	分野別投稿数						分野別採択数						備考
			Total	V	N	F	R	Note	Total	V	N	F	R	Note	
3月19日	62	2016	48	8	37	3	1	5	21	9	9	3	1	3	62-2まで
5月12日			70	12	53	5	2	7	29	9	15	5	2	4	62-3まで
7月9日			114	21	82	11	2	9	39	12	22	5	2	6	62-4まで
10月15日			164	29	115	20	3	15	53	14	31	8	2	8	62-5まで
1月19日		2017	219	33	156	30	7	19	62	15	38	9	2	9	62-6まで
3月19日	63	2017	45	5	31	9	1	7	21	4	13	4	0	1	63-2まで

Total は、V、N、Fの合計。

(各号の内訳)						
Total	V	N	F	R	Note	巻号
11	4	5	2	1	1	62-1
10	5	4	1	0	2	62-2
8	4	8	0	0	3	62-3
10	1	8	1	0	3	62-4
14	3	6	2	0	3	62-5
9	2	6	5	0	4	62-6
11	4	5	2	1	1	63-1
10	5	4	1	0	2	63-2

V: ビタミン N: 栄養 F: 食品 R: 総説

Vol. 55													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	15	9	21	13	6	10	21	13	21	13	16	7	165
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		78
		13		15		16		12		12		10	
Vol. 56													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	24	7	19	23	10	12	13	12	16	15	11	10	172
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		68
		13		11		10		9		10		15	
Vol. 57													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	15	9	10	13	14	16	19	18	14	10	15	167
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		65
		18		12		9		8*		9		9	
													*IUNS報告を除く
Vol. 58													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	6	14	17	10	12	8	13	18	17	14	12	12	153
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		65
		11		11		10		12		10		11	
Vol. 59													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	12	14	17	12	13	10	16	11	7	11	9	12	144
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		80
		11		12		12		15		14		16	
													*59-Suppl. を除く
Vol. 60													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		55
		10		10		10*		12		9		14	
													*IUNS報告を除く
Vol. 61													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		75
		15		14		12		10		11		13	
Vol. 162													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	15	26	17	219
掲載数	No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		62
		11		10		8		10		14		9	

JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R		Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	掲載数	投稿数	掲載数			
50	2004	107	18	15	68	48	21	11					75	465
51	2005	115	26	14	76	49	13	15	1	15	17		78	499
52	2006	137	19	17	88	43	30	11	1	16	11		71	497
53	2007	134	22	16	92	51	20	21	2	18	17		88	577
54	2008	154	20	16	103	57	31	8	3	23	11		81	531
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16		78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12		68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10		65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18		65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20		80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11		66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17		75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9		62	451

* V, N, Fの合計。

J N S V 採択数・却下数（2016.12.8現在）

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%
注) 新システムでは採択率＝採択数/（採択数＋却下数）になります。				
論文提出日		2016/1/1-2016/11/30		
採択数		54		
却下数		101		
			155	34.84%

- ②投稿数・掲載数ともに順調に推移し、インパクトファクター(2017年3月現在 0.890)も昨年より上昇している。J-STAGEを用いたオンラインWeb審査システムが順調に稼働している。海外からの投稿の採択率が低かったが、質の高い論文が増えてきており、オンライン化のメリットが出てきている可能性がある。また、ペーパーレス化などについて検討した。
- ③編集委員の交代(2名)

(3) 学会監修出版物

該当なし

2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

(1) 報道機関向け広報

- ①第70回大会開催にあたり、報道機関へプレスリリースを実施した。(平成28年4月25日)
- ②第71回大会開催にあたり、報道機関へ事前に主なテーマについての発表(平成29年4月28日)実施の準備

(2) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関(大学・官庁等)からの情報、依頼記事(募集・告知等)について、広報推進を行った。

- ①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載
- ②会員向けメールマガジン栄食ニュースは1回/月のペースで発信
ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下17号発信
2016-4(通算158号 4/11)、2016-臨時号(5/2)、2016-5(通算159&大会直前号 5/11)、2016-6(通算160号 6/13)、
2016-7(通算161号 7/11)、2016-8(通算162号 8/10)、2016-9(通算163号 9/12) 2016-10(通算164号 10/11)、
2016-臨時号(通算165号 11/1)、2016-11(通算166号 11/10) 2016-12(通算167号 12/12)、2016-臨時号(通算168
号 12/22)、2016-臨時号(通算169号 12/26)、2017-1(通算170号 1/10)、2017-2(通算171号 2/10)、2017-臨時号
(通算172号 2/14)、2017-3(通算173号 3/10)
- ③国内学術団体からの事業関連の連絡・通知
- *日本学術会議
日本学術会議発行メールニュース(No.542~No.588)の周知の実施
 - *日本医学会
シンポジウム等の開催周知協力の実施

Ⅲ 管理業務報告

(1) 内閣府からの通知・連絡対応

①内閣府より

- *公益法人メールマガジン（第1号～第17号）受理
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（4/1）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（5/1）
- *公益法人 information 「理事変更届出受付」のお知らせ（5/31）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」のお知らせ（6/1）
- *公益法人 information 「事業報告等の提出」受付のお知らせ（6/20）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 A（1/1 受理）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 B（2/1 受理）
- *公益法人 information 「事業計画書等の提出」のご案内 C（3/1 受理）
- *メール通知「事業計画書等の提出完了」（整理番号 1600171977）の案内（3/28）

②内閣府へ

- *「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」をメールにて提出（4/1）
- *理事変更届出をオンライン提出（5/25）
- *平成 27 年度事業報告書等をオンライン提出（6/20）
- *JNSV WEB 化に伴う、契約等のあり方についての問い合わせ（1/11、1/19 回答）
- *平成 29 年度事業計画書等をオンライン提出（3/28）

(2) 文部科学省

- *平成 29 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について（6/2 受理、7/27 回答）
- *医学教育モデル・コア・カリキュラムに係る意見照会（12/13 受理）
- *科学技術週間ポスターの送付（2/20 受理）

(3) 厚生労働省

- *医薬品・医療機器安全性情報 No. 332～No. 341 の周知依頼

(4) 農林水産省

- *特になし

(5) 日本学術会議

- ①日本学術会議発行メールニュース（No. 542～No. 588）の周知
- ②生活科学系コンソーシアムへの参加
- ③[nozip]日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供について（12/1）
- ④[nozip]平成 28 年度協力学術団体に対する実態調査について（1/6、1/12 回答）

(6) 日本医学会・日本医学連合

- ①[ibunka-ml]の周知
- ②[rengo-ml]の周知
- ③日本医学会だよりの掲載
- ④日本医学会に関するアンケートの回答
- ⑤第 2 回研究倫理教育研修会（平成 28 年 5 月 16 日）への出席
- ⑥日本医学会・医学用語委員会（平成 28 年 12 月 5 日）への出席
- ⑦医学会連合連絡協議会への出席（平成 29 年 2 月 9 日）への出席
- ⑧日本医学会定例評議員会（平成 29 年 2 月 17 日）への出席
- ⑨日本医学雑誌編集者会議（平成 29 年 3 月 29 日）への出席

(7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可

- ・日本食品・機械研究会「第 14 回高付加価値食品開発のためのフォーラム」協賛
- ・公益財団法人不二たん白質研究財団「公開講演会『大豆のはたらき in 東京ー子供の栄養・健康を通してー』」後援
- ・公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成 28 年度『食育健康サミット』」後援
- ・公益社団法人日本油化学会「第 16 回基準油脂分析試験法セミナー」協賛
- ・一般社団法人日本キッチン・キトサン学会「第 31 回日本キッチン・キトサン学会大会」協賛
- ・ネスレ栄養科学会議「食と生命のサイエンス・フォーラム」後援
- ・国立研究開発法人国立長寿医療研究センター「第 12 回長寿医療研究センター国際シンポジウム」後援
- ・一般社団法人日本骨代謝学会「第 35 回日本骨代謝学会学術集会におけるシンポジウム」共催
- ・特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「健康な食事研究シンポジウム」後援
- ・2017 年度生命科学系学会合同年次大会（ConBio2017）運営事務局「2017 年度生命科学系学会合同年次大会」協賛
- ・食品化学新聞社「ifia JAPAN 2017ー第 22 回国際食品素材/添加物展・会議」HFE JAPAN 2017 第 15 回ヘルスフードエキスポ」後援
- ・日本糖質学会「第 35 回日本糖質学会年会」共催

- ・食品ハイドロコロイド研究会「第28回食品ハイドロコロイドシンポジウム」協賛
- ・食品ハイドロコロイド研究会「食品ハイドロコロイドセミナー2017」協賛
- ・公益財団法人ダノン健康栄養財団「第19回ダノン健康栄養フォーラム」後援

(8) 利益相反 (COI) 関連

現在ある「臨床研究の利益相反に関する指針(改訂案)」を本学会に相応しい指針「栄養・食糧学研究の利益相反に関する指針」として、COI状態の報告方法等の内容を継続検討している。

第70回大会で本学会のCOI管理について講演を実施した。

IV 総会、理事会、等の開催状況

(1) 社員総会

平成28年 5月13日(金) 9:00~ 9:50 神戸ポートピアホテル ポートピアホール

(2) 理事会

平成28年 4月23日(土) 13:30~15:40 お茶の水女子大学
 平成28年 5月12日(木) 15:00~17:00 神戸ポートピアホテル 南館B1階 サファイア
 平成28年 7月19日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成28年 10月16日(日) 13:30~16:30 東京大学 弥生キャンパス
 平成29年 1月28日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成29年 3月25日(土) 13:30~16:30 お茶の水女子大学

(3) 業務執行理事打合せ

平成28年 6月19日(日) 15:00~17:00 お茶の水女子大学
 平成28年 7月2日(土) 13:30~16:30 お茶の水女子大学
 平成28年 10月8日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成29年 1月7日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学
 平成29年 3月11日(土) 13:30~17:00 お茶の水女子大学

(4) 名誉会員・顧問懇談会

平成28年 4月9日(土) 11:30~13:30 茗溪館

(5) 栄養・食糧懇談会

平成28年 4月9日(土) 13:30~16:00 お茶の水女子大学

(6) 名誉会員・終身会員推薦委員会

平成29年 1月7日(土) 13:50~14:30 お茶の水女子大学
 平成29年 3月11日(土) 14:12~14:17 お茶の水女子大学

(7) 将来構想検討委員会

平成28年 6月19日(日) 15:00~17:00 お茶の水女子大学
 平成28年 10月8日(土) 10:30~12:30 お茶の水女子大学